

# 西久保研究室（環境法・環境政策）

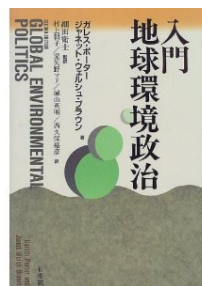
教員名：西久保 裕彦

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

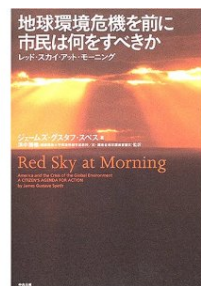
- 私は、1982年に環境庁（現在の環境省）に就職し、公害対策、自然保護、環境アセスメント、地球環境問題、公害健康被害者の救済などを担当しました。また、1991年から3年間はアメリカ合衆国（ワシントンDC）にある日本国大使館で環境問題担当の書記官を勤めました。
- 西久保研究室では、環境省等での勤務経験を生かしつつ、環境問題の解決に向けて理論と実務が融合する形での解決策を考えています。
- 地球温暖化問題や放射性物質による環境汚染、あるいは貴重な自然環境の保全など、日本が、そして世界が直面する様々な環境問題について、学生一人一人が自ら問題解決のために考え、調べ、議論する中で、社会人になったときに必要となる問題解決能力を養うことを目的に教育・研究を行っています。
- これまでの研究等の成果としては、例えば、以下の書籍の作成に関わりました。



（共著：1990年）



（共訳：1998年）



（共訳：2004年）



（共著：2012年）

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

- 平成25年度以降25名の卒業生を出しましたが、そのうち9名は公務員（国税局、福岡市役所、長崎市役所、鹿児島県庁、長崎県警、大村市役所、下関市役所）、16名は民間（製造、販売、IT、航空、銀行、旅行、建築、医療等）に就職しました。
- 問題を解決するための能力は、公務員になっても民間企業で働くことになっても必要不可欠な能力です。環境問題に取り組み解決策を考えることにより、このような力を養っていきましょう。